

平成30年度

あゆみ

～ 献血から輸血まで～



(献血ポスターコンクール最優秀作品)
金沢市立小将町中学校1年 岡本 明花



石川県赤十字血液センター



“献血文化に感謝”

一人を思う気持ちが支える輸血医療

平成30年度も石川県民約4万2千人の皆様方の心温かい献血に支えられ、安全で高品質の輸血用血液を患者さんのもとへ不足なくお届け出来ました。輸血で元気を回復した患者様から沢山の感謝の手紙が届いています。皆様方のご支援の賜物と心よりお礼申し上げます。

平成30年度は血液事業の広域化後7年目となり、血液製剤の安全性は格段に高まり従来の輸血後肝炎の危険は激減し、加えて免疫の低下した患者様にも安全なE型肝炎ウイルス陰性血も供給できるよう検査の導入が進んでいます。輸血のアレルギーに対しては洗浄血小板、血小板の不応にはHLA適合血小板、新生児黄疸には合成血など病院からの特別な注文に対しては、血液製剤の製造工場である石川製造所と連携し、素早く病院へお届け出来ています。

超少子高齢社会を迎え、安定した献血者集団の維持には若年層の献血参加が急務です。石川県では“学都石川”の特徴を生かし、大学と高校を横断した石川県学生献血推進委員会が大学教員の協力を得て活発に活動しています。血液センターは国や県と連携し、市町、ライオンズクラブ、大学や高校、献血推進企業・団体等のご支援を受けながら、学生の献血推進ボランティア活動を支援し、若年層の献血率向上と効率の良い献血推進事業を実行しているところです。

お陰様で、平成28年10月に竣工した新センターのボランティア室は大学生の献血推進活動の作業拠点として、また、多目的研修室は将来の輸血医療を支える研修医や看護学生等に活発に利用して頂いています。献血ルーム ル・キューブは学生の憩いの場として、献血ルーム くらつきは見学研修の中心ルームとして血液事業の持続的な人材育成も担っています。

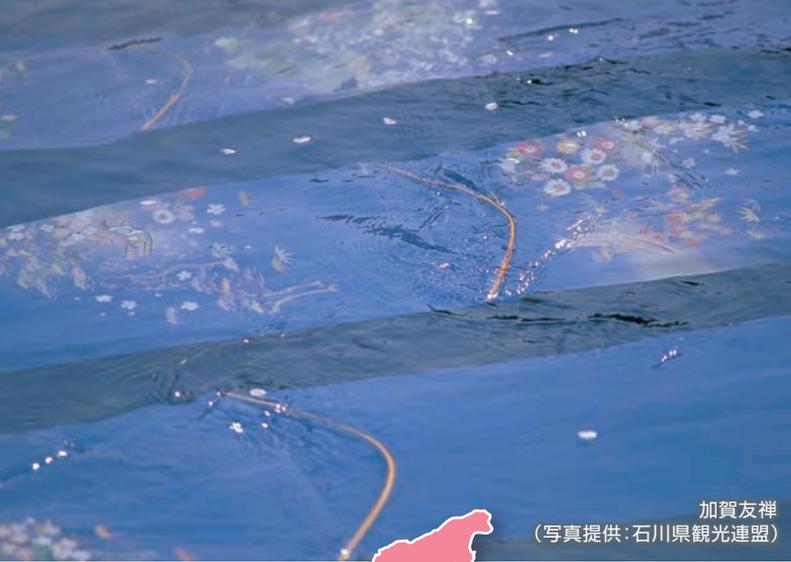
献血はこれからも皆様方の“人のためを思う気持ち”に支えて頂くしかありません。献血者が安心して献血して頂けますよう、献血環境の改善、健康管理の充実、採血技術の向上など職員一同一層力を注いでいく所存です。県民の皆様方には末永く健康を維持して頂き、献血にご協力頂きますよう、また周囲の若者には“愛の献血”として背中をそっと押して頂きますようお願い申し上げます。

令和元年 12 月

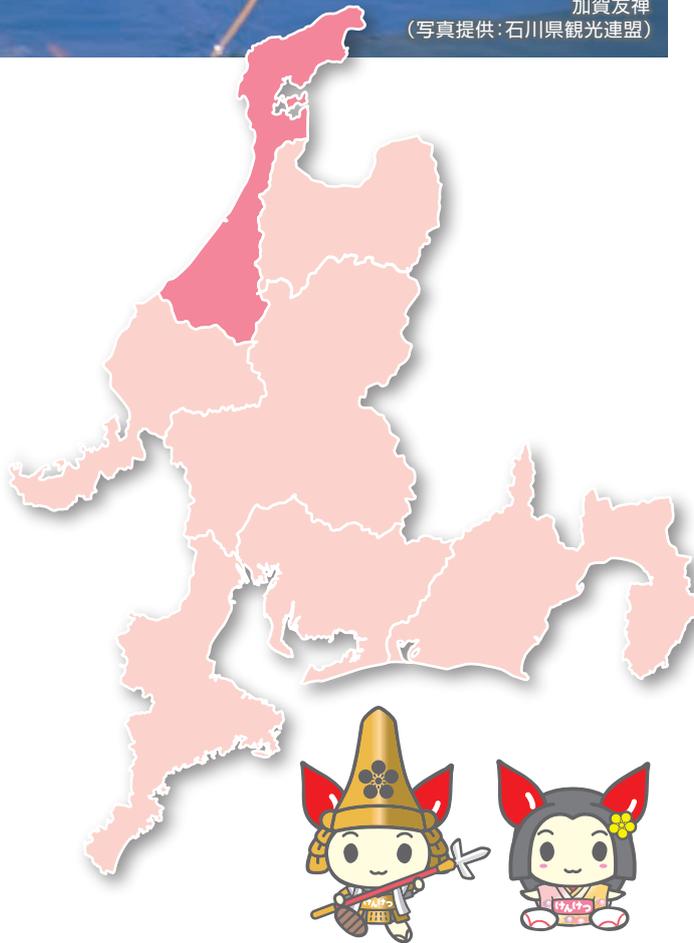
石川県赤十字血液センター

所 長 塩 原 信 太 郎

いしかわの献血



加賀友禪
(写真提供: 石川県観光連盟)



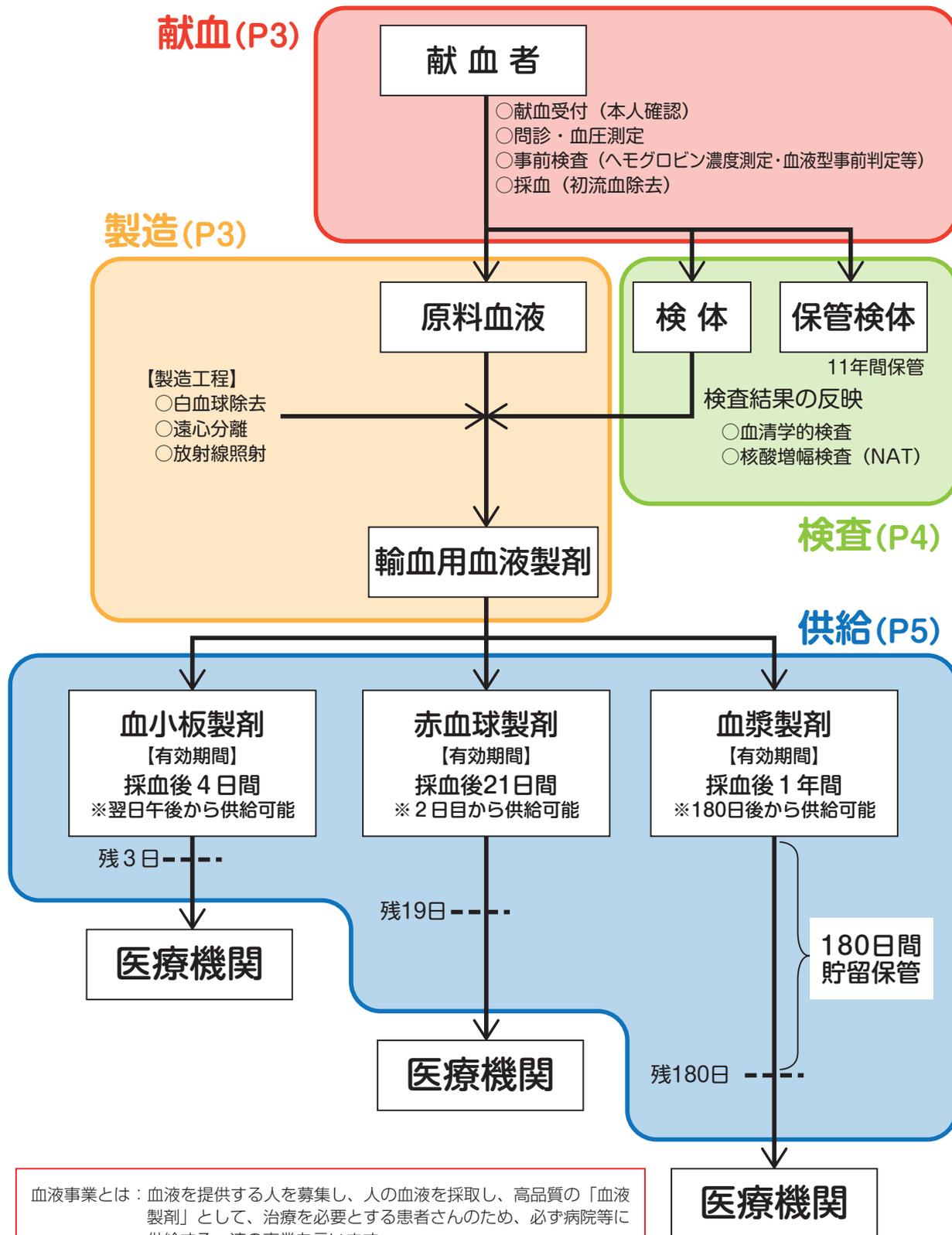
CONTENTS

献血受入れから供給まで	2
・ 献血、製造	3
・ 検査	4
・ 供給	5
献血を支える活動	6
石川県赤十字血液センターの主な取り組み	
・ 400mL 献血及び血小板成分献血の推進	8
・ 献血サポーター制度	8
・ 献血者登録制度	8
・ 複数回献血クラブ制度	8
・ 緊急時の血小板成分献血への協力依頼	9
・ 若年層の献血推進活動	9
・ 栄養相談・骨髄バンクドナー	9
献血場所の紹介	
・ 献血バス	10
・ 献血ルーム ル・キューブ	10
・ 献血ルーム くらつき	10
献血功労者・功労団体の表彰	11
献血推進団体	11
平成 30 年度献血ポスターコンクール優秀作品	12
採血基準	
・ 献血方法別の採血基準	13
・ 献血の間隔	13
血液と血液製剤について	
・ 献血の種類と血液製剤の種類	14
・ 血液の役割	15
・ 血液型 (A B O・R h・まれな血液・H L A)	16
・ H L A 適合血小板について	16
・ 医薬情報活動	17
平成 30 年度献血者数・血液製剤の供給状況	18
・ 血液製剤の供給状況	19
・ 地域別供給状況	20
石川県赤十字血液センターの組織	21
石川県赤十字血液センターの沿革	22
患者さんからのメッセージ・わたしたちの誓い	26

献血受入れから供給まで



献血いただいた血液は、安全性確保の検査が行われた後、輸血医療のために様々な血液製剤に形を変えて、患者さんの待つ医療機関へ供給されます。



血液事業とは：血液を提供する人を募集し、人の血液を採取し、高品質の「血液製剤」として、治療を必要とする患者さんのため、必ず病院等に供給する一連の事業を言います。

献血

安全で責任のある献血をお願いするために、献血受付時に身分証明書などの提示をお願いし、本人確認を実施しています。

また、献血者と患者さん双方の安全を守るため、献血の基準を満たしているかどうかを医師の問診と事前採血による血液検査を実施して確認します。



★アフェーシスナースが在籍！より安全・快適な環境を提供!!

日本輸血・細胞治療学会が認定する「アフェーシスナース」とは、アフェーシスへの正しい知識を有しており、血小板成分献血など献血いただくドナー様への的確な看護を実践し、献血の安全性向上に寄与できる看護師のことをいいます。

当センターでは平成31年3月末時点で4名在籍しておりますが、より安全かつ快適な献血環境を目指し、看護師の認定取得を積極的に進めております。

製造



フィルター処理をして「白血球」を取り除く。「白血球」による副作用を防止するためです。

遠心分離機にかける。



「赤血球」と「血漿」に分け、別々のバッグに分離する。

製剤別のラベルを貼る。



赤血球製剤は、副作用防止のため放射線を照射する。



コンピュータで検査結果等と照合する。

血液製剤

検査

献血いただいた血液は、血液型検査や感染症予防のための抗原・抗体検査、献血後にお知らせする生化学検査、血球計数検査などを行います。

各種検査項目

血液型検査	ABO血液型検査、Rh血液型検査、不規則抗体検査、HLA検査(一部)
感染症関連	梅毒血清学的検査、B型肝炎ウイルス検査(HBs抗原、HBs抗体、HBc抗体)
	C型肝炎ウイルス検査(HCV抗体)、エイズウイルス検査(HIV-1、2抗体)
生化学検査	HTLV-I 抗体検査、ヒトパルボウイルスB 19抗原検査
	ALT(GPT)、 γ -GTP、総蛋白、アルブミン、アルブミン対グロブリン比
血球計数検査	コレステロール、グリコアルブミン
	赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値、平均赤血球容積
	平均赤血球ヘモグロビン量、平均赤血球ヘモグロビン濃度
核酸増幅検査	白血球数、血小板数
	B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査、エイズウイルス検査
その他の検査	まれな血液型、サイトメガロウイルス検査

NAT 検査



抗原・抗体検査は、ウイルスなどに感染した後、血液中に産生される抗原や抗体を検出する方法であるため、感染後しばらくは、感染していることを検査で検出できない期間(ウィンドウ・ピリオド)があります。

核酸増幅検査(NAT)は、抗原や抗体ではなくウイルスを構成する核酸(DNAまたはRNA)の一部を約1億倍に増幅しウイルスの有無を検出するため、非常に感度と特異性が高く、ウィンドウ・ピリオドの短縮を可能にします。日本赤十字社では、1999年(平成11年)より血液の安全性向上を図るうえでB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、エイズウイルス(HIV)について特に有効なNATを世界に先駆けて導入しています。

検査成績のお知らせ

献血にご協力いただいた方の中で通知を希望される方を対象に、7項目の生化学検査成績及び8項目の血球計数検査成績をお知らせしています。これらの結果は、親展にておよそ2週間で献血者に届くように郵送されています。また献血受付時にB型肝炎検査、C型肝炎検査、梅毒検査、HTLV-I 検査の結果通知を希望された方には、異常を認めた場合、献血後1ヶ月以内に上記の通知とは別に親展にてご通知します。



供給

血液センターでは、輸血を必要としている方に安全な血液を安定的にお届けするために、過不足のない効率的な献血を目指し、医療機関からの要請、血液の在庫、献血の状況の把握につとめています。

また、確保が難しいRh(-)や稀な血液型の輸血用血液製剤を不足なく医療機関にお届けできるよう、都道府県の枠を超えた調整を行うことがあります。

●主な供給業務は次の4段階からなっています。



保 管

輸血用血液製剤はその種類ごとに適した保存温度があります。

- 赤血球2～6℃
- 血漿-20℃以下
- 血小板20～24℃



受 注

医療機関よりFAXまたは電話で受注をしています。

ここ近年、インターネットによる受注も可能になり、推進につとめています。

確認しながら
受注します。



出庫・梱包

輸血用血液製剤ごとに適した梱包容器で適正温度に保つことができるように梱包します。



厳重に出庫・梱包
しています。



供 給

24時間体制で医療機関へ輸血用血液製剤をお届けしており、緊急の要請に対しても即時に対応できるような体制を取っています。



献血を支える活動



世界献血者デー

平成30年6月14日(木)

この記念日は血液という「いのちを救う贈り物」をくれる献血者の皆様に感謝するとともに、血液製剤を必要とする患者様のために献血が欠かせないことを知ってもらう日となっており、世界各国で工夫を凝らした様々なイベント等が行われています。



<http://www.wbdd.org/>
<http://www.who.int/worldblooddonorday/en/>

愛の血液助け合い運動(7月)

平成30年7月1日(日)~7月31日(火)

平成30年7月1日(日) 七夕献血キャンペーン
 会場: アル・プラザ金沢、献血ルームル・キューブ



4月↑

3月



献血ルームル・キューブ 開設5周年キャンペーン

平成31年3月19日(火)
~3月24日(日)

「かなざわはこまち(金沢市袋町)」に移転して5周年を迎え、日頃から献血にご協力くださる皆さまへ感謝を込めてハンドケアサービスや骨盤ゆがみチェックを実施しました。



石川センターの

献血ルーム 独自のキャンペーン

- 「お誕生日おめでとう」キャンペーン

献血ルームで献血いただいた方のお誕生日月に「バースデーカード」をお送りし、さらに献血いただいた方に記念品をお渡しします。



- 「10代・20代・30代限定複数回献血」キャンペーン

献血離れが深刻な若年層(10代、20代、30代)の複数回献血を促すため、ポイントカードをお渡しし、献血3回の達成時に記念品をお渡しします。



「はたちの献血」キャンペーン

平成31年1月1日(火)~2月28日(木)

献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く国民の皆様へ献血に関する理解と協力を求めています。



なぜ？なに？おしえて！献血！ ～親子で学ぶ献血教室～

平成30年7月21日(土)・28日(土)・8月4日(土)

県内の小学生に献血について知ってもらうため、保護者と一緒に血液について学び、献血を疑似体験していただくプログラムです。「血液はかせ(医師・薬剤師)」からのレクチャーや、献血バスでの模擬献血、献血運搬車や供給課の見学などを行いました。

平成30年度は115組276名が参加しました。



若年層向け献血セミナー事業

将来の輸血医療を支える若年層に献血の基礎知識や必要性を伝え、これからの献血協力やボランティアのきっかけにしておこうと、県内の各学校に血液センター職員や学生献血推進ボランティアが伺い、献血セミナーを実施しています。

平成30年度は27校で計36回実施し、3,391名の方が聴講していただきました。



東海北陸ブロック統一サマー献血キャンペーン2018

平成30年8月19日(日)

会場：アピタ松任店、献血ルーム ル・キューブ
夏場の血液不足の時期に、東海北陸7県の学生献血推進ボランティアが各県で献血を呼びかけるキャンペーンです。7県の学生が力を合わせて、バスルアートや献血記念品など様々な統一企画を実施し、街頭で献血を呼びかけ、多くの皆さんにご協力いただきました。



献血広報活動



年末年始愛の血液助け合い運動

平成30年12月20日(木)～平成31年1月19日(土)

献血者の確保と年末年始の献血受け入れ体制の強化を目指すとともに、広く県民各層の間に献血思想の普及徹底を図るために実施しました。

平成30年12月2日(日)

全国学生クリスマス献血キャンペーン2018

会場：アピタ松任店、献血ルーム ル・キューブ



複数回献血協力者確保事業

平成30年7月18日(水)

年間に複数回の献血協力をいただける方を会員とする「複数回献血クラブ」では、さらに多くの献血者に参加していただき、継続的なご協力をお願いするため、また、特に将来の輸血医療を支える若年層(10代～30代)の献血者に積極的な参加をお願いするために、映画試写会イベントを実施しています。

今年度は、映画「未来のミライ」を上映し、200名の方にご参加いただきました。

上映前には、血液センター職員から、献血を取り巻く課題、特に若い世代の献血離れの現状についてお話しし、来場された皆さんに継続的な献血協力をお願いしました。



石川県赤十字献血センターの主な取り組み



400mL 献血及び血小板成分献血の推進

平成30年度において、医療機関の要望に応えるために400mL献血を推進した結果、93.5%となりました。全国における400mL献血率は、95.8%で、今後更に400mL献血者を増加させるよう推進し、医療機関のニーズに応じていかなければいけません。

血小板製剤の供給量については、平成30年度は約7.3万単位の供給となりました。急な増加傾向を示すこともあるため、複数回献血クラブ会員や血小板献血登録者の募集に努め、血液の安定確保と安定供給に努めています。

献血サポーター制度

日本赤十字社では、献血にご協力いただける企業・団体の皆様を広く募集しています。

●献血サポーターとは…

医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力していただける企業・団体のことを「献血サポーター」と言います。

●ロゴマークの配布

「献血サポーター」となった企業・団体には、「献血サポーター」ロゴマークを日常の企業活動等において活用していただくことができます。

●献血サポーターへの参加

国民の医療を支える献血のさらなる推進を図っていただき、また、社会貢献活動である献血活動を国民に広くPRする機会として「献血サポーター」にご参加ください。

私たちは献血をサポートしています。



お問い合わせ 石川県赤十字血液センター ☎076-254-6372
献血サポーター ホームページ <https://www.ken-sapo.jp>

献血者登録制度

「患者さんが必要とされている血液」を安定的にお届けするため、血液センターの要請にお応えいただける方に登録していただく制度です。

特にRh(-)、まれな血液型の方には、血液センターより登録のご案内を郵送させていただきますので、登録をお願いいたします。

●献血者登録状況(平成31年3月末現在)

	計	内 訳 (人)	
登録者	42,452	Rh(+)型	41,726
		Rh(-)型	726
Web会員 (再掲)	8,496	Rh(+)型	8,412
		Rh(-)型	84

複数回献血クラブ制度

平成18年に開設された「複数回献血クラブ」は会員サービスを拡充させ、会員サイトをリニューアルし「ラブラッド」として運用開始しました。

複数回献血クラブは、安全な献血者を安定的に確保するために、年間で複数回の400mL献血や成分献血にご協力いただける方を募集しています。

登録いただいた方には、血液センターから携帯電話やパソコンの電子メールで、緊急時の「献血のお願い」や「献血に関するお知らせ」を送信します。

また、献血の検査結果が閲覧できるなど会員特典があります。

●複数回献血クラブ登録者状況 (平成30年3月末現在)

	累 計
石川県	6,571

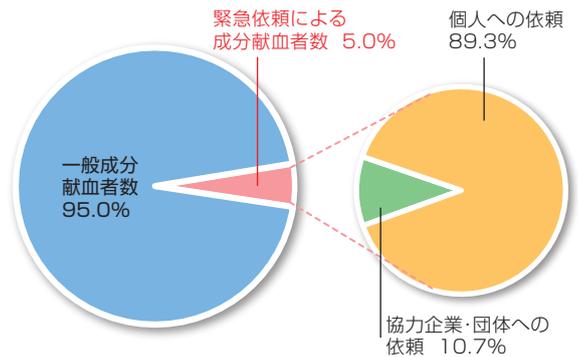
(人)

緊急時の血小板成分献血への協力依頼

医療機関からの日々変動する要望に対し、不足が生じる恐れがある場合等、緊急時には様々な方法で献血協力を依頼し、ご協力いただいております。

その中には、ご連絡当日にご対応いただいている場合も多くあり、成分献血に登録していただいている登録者の皆様や複数回献血クラブ会員様の献血協力に対する高い知識と、積極的な応諾によりご協力いただいております。

さらに、協力企業・団体様にも仕事中に献血していただくお時間をいただいております。



若年層の献血推進活動

石川県学生献血推進委員会



●石川県学生献血推進委員会とは

平成5年に、金沢経済大学（現 金沢星稜大学）の学生が、大学を超えて献血推進に取り組もうと、他大学にも協力を呼びかけ、県内14の大学・短期大学等の賛同を得て発足しました。年2回の総会や各献血キャンペーン（七夕、サマー、クリスマス等）をとおして広く県民に献血をPRし、協力を呼びかけています。

●石川県学生献血推進委員会 主な活動（平成30年度）

- 5月 第1回石川県学生献血推進委員会総会
全国学生献血推進実行委員会
- 6月 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会 第1回総会
世界献血者デーキャンペーン
- 7月 七夕献血キャンペーン
「なぜ？なに？おしえて！献血～親子で学ぶ献血教室～」
- 8月 東海北陸ブロック統一学生サマー献血キャンペーン 2018
全国学生献血推進代表者会議
- 9月 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会 第2回総会（リーダー研修）
- 12月 全国学生クリスマス献血キャンペーン 2018
- 2月 東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会 第3回総会
第2回石川県学生献血推進委員会総会



第1回総会



東海北陸ブロック学生献血推進実行委員会総会



献血キャンペーンでの呼びかけ



「なぜ？なに？おしえて！献血」献血体験

石川県学生献血推進連絡会

石川県学生献血推進委員会および委員会に参加する学生献血推進ボランティアの活動をバックアップし、若者へのさらなる献血推進を行うために、ご賛同いただいた県内各大学・短期大学等の教職員の方々と、石川県学生献血推進アドバイザー、石川県赤十字血液センターによって構成されています。

栄養相談・骨髄バンクドナー



石川県栄養士会に所属する管理栄養士がヘモグロビン濃度の低い方等に栄養相談を行い、献血できるようにアドバイスしてくれます。

栄養相談 ● 原則毎月第1・3土曜日 14時～16時

ボランティア団体「はとの会」に所属するボランティアが骨髄バンクドナーについて懇切丁寧に説明してくれます。

骨髄バンクドナー登録 ● 毎週日曜日 13時50分～17時



献血場所の紹介



献血バス



北は珠州市・輪島市などから南は加賀市・白山市など、石川県全域の役所・企業・学校・ショッピングセンター等に献血バスで伺って、みなさまに献血をお願いしています。当センターにはバスが4台あり、病院からの要望に合わせて毎月平均約30台前後稼働させています。献血バスでは400mL献血等の全血献血の受付を行っておりますので、バスをお見かけの際は是非ご協力ください。



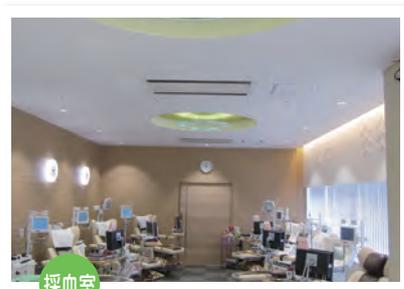
〔バス〕		〔人〕		
全血献血	成分献血	合計		
200mL	400mL	PPP	PC	
912	18,132	—	—	19,044

H30年度 献血者数実績

献血ルーム ル・キューブ

「木漏れ日あふれる玉手箱」をコンセプトに、黄緑色を基調とし、外の光が入り明るいイメージとなっており、献血にご協力いただける方はもちろん、お子様も一緒につるぎるやさしい雰囲気の献血ルームとして、平成26年3月に移転オープンしました。

ゆったりと広い待合室やキッズルームを備え、より一層、皆様に快適で安心して献血いただけるように努めています。



採血室

清潔感と開放感にあふれた室内

快適性を追求して献血者の負担軽減



入口

スタイリッシュな空間を演出



待合室

〔ル・キューブ〕		〔人〕		
全血献血	成分献血	合計		
200mL	400mL	PPP	PC	
710	3,820	4,993	3,063	12,586

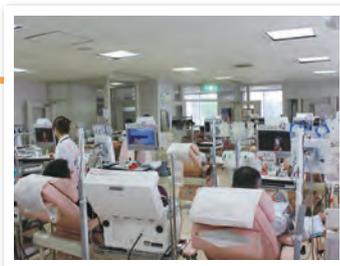
H30年度 献血者数実績

献血ルーム くらつき

昭和55年9月、石川県赤十字血液センター（母体）として採血業務が開始され、平成28年10月、「献血ルーム くらつき」に名称変更して、成分献血・全血献血の受付をしています。

この施設では、今までに約33万人の方に献血していただいています。

今後とも、献血ルーム・くらつきを宜しくお願い致します。



採血室



献血ルーム くらつき(外観)



〔くらつき〕		〔人〕		
全血献血	成分献血	合計		
200mL	400mL	PPP	PC	
162	3,658	3,510	3,580	10,910

H30年度 献血者数実績

献血功労者・功労団体の表彰



日時：平成30年7月30日(月) 場所：石川県庁4階特別会議室

1. 厚生労働大臣表彰状(1団体)	(3) 献血成績優良者(94名)
①小松中央ライオンズクラブ	代表 河内 佑介
2. 厚生労働大臣感謝状(5団体)	(4) 献血目標達成市町(3町)
①株式会社平和堂アル・プラザ鹿島	代表 内灘町
②株式会社平和堂アル・プラザ金沢	4. 日赤支部長感謝状(14団体)
③一般財団法人石川県予防医学協会	①株式会社 PFU ProDeSセンター
④かほく市商工会	②大和ハウス工業株式会社 金沢支社
⑤イオンリテール株式会社 北陸信越カンパニー 北陸事業部 イオン加賀の里店	③一般社団法人加賀建設業協会
3. 石川県知事感謝状	④共和産業株式会社
(1) 献血成績優良団体(4団体)	⑤ユニー株式会社アピタ松任店
①一般社団法人生命保険協会 石川県協会	⑥石川県立盲学校
②日機装株式会社金沢製作所	⑦イオンリテール株式会社 北陸信越カンパニー 北陸事業部 イオンモールかほく
③北陸電力株式会社石川送配電支社金沢電力部	⑧金沢パークライオンズクラブ
④小松電子株式会社	⑨医療法人社団 光仁会
(2) 献血推進功労者(1団体)	⑩学校法人センチュリー・カレッジ専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー
①イオンリテール株式会社 北陸信越カンパニー 北陸事業部 イオン小松店	⑪上田運輸株式会社
	⑫株式会社日本海コンサルタント
	⑬日本ガイシ株式会社 石川工場
	⑭金沢星稜大学学生赤十字奉仕団



献血推進団体



石川県医薬品配置協議会
石川県学生献血推進委員会
石川県青年赤十字奉仕団
石川県内各赤十字奉仕団
石川県婦人団体協議会
石川県理容生活衛生同業組合 金沢支部
国際ソロプチミスト金沢-くろゆり
天理教石川教区
立正佼成会小松教会
日清食品
ライオンズクラブ
金沢ライオンズクラブ
金沢中央ライオンズクラブ
金沢西ライオンズクラブ
金沢菊水ライオンズクラブ
金沢兼六ライオンズクラブ
内灘ライオンズクラブ

金沢城北ライオンズクラブ
高松ライオンズクラブ
かほく中央ライオンズクラブ
羽咋ライオンズクラブ
七尾ライオンズクラブ
穴水ライオンズクラブ
輪島ライオンズクラブ
中能登ライオンズクラブ
田鶴浜ライオンズクラブ
加賀ライオンズクラブ
小松ライオンズクラブ
能美ライオンズクラブ
小松中央ライオンズクラブ
小松青雲ライオンズクラブ
松任ライオンズクラブ
美川ライオンズクラブ
野々市ライオンズクラブ

鶴来ライオンズクラブ
金沢東ライオンズクラブ
金沢南ライオンズクラブ
金沢尾山ライオンズクラブ
金沢ひかりライオンズクラブ
金沢伏見ライオンズクラブ
金沢みどりライオンズクラブ
金沢パークライオンズクラブ
□ロータリークラブ
金沢東ロータリークラブ
加賀ロータリークラブ
羽咋ロータリークラブ
珠洲ロータリークラブ
内浦ロータリークラブ

(順不同)

平成30年度 献血ポスターコンクール優秀作品



平成30年度は石川県内29校、334人の出展がありました。

金賞1名、銀賞3名、銅賞6名の入賞作品を献血ルーム ル・キューブにおいて平成31年1月16日から1月22日まで展示しました。



金沢市立小将町中学校 1年
岡本 明花



白山市立松任中学校 2年
近間 莉咲子



金沢市立額中学校 2年
高橋 祐華



金沢市立港中学校 2年
山本 倫子



石川県立金沢錦丘中学校 2年
森 百加



野々市市立野々市中学校 2年
高尾 涼花



金沢市立鳴和中学校 1年
所村 和哉



金沢市立額中学校 2年
北山 千尋



金沢市立港中学校 2年
井口 絢日



能登町立松波中学校 2年
大鷲 晴香



採血基準



献血方法別の採血基準

献血いただく方の健康を守るために、さまざまな基準を設けています。

献血の種類 項目		全血 献血		成分 献血	
		200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1回の献血量	男女共通	200mL	400mL	600mL 以下 (循環血液量の12%)	
年齢	男性	16歳～69歳*1	17歳～69歳*1	18歳～69歳*1	18歳～69歳*1
	女性	16歳～69歳*1	18歳～69歳*1	18歳～69歳*1	18歳～54歳
体重	男性	45kg 以上	50kg 以上	45kg 以上	
	女性	40kg 以上	50kg 以上	40kg 以上	
最高血圧	男女共通	90mmHg 以上			
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性	12.5g/dL 以上	13.0g/dL 以上	12.0g/dL 以上	
	女性	12.0g/dL 以上	12.5g/dL 以上	12.0g/dL 以上 (赤血球指数が標準域にある場合は11.5g/dL 以上)	12.0g/dL 以上
血小板数	男女共通	—	—	—	15万/μL 以上
1年*2に献血できる回数 (1年は52週として換算)	男性	6回以内	3回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
	女性	4回以内	2回以内		
1年*2に献血できる 総献血量 (1年は52週として換算)	男性	200mL献血と400mL献血を 合わせて1,200mL以内		—	—
	女性	200mL献血と400mL献血を 合わせて800mL以内		—	—

献血の間隔



次回の献血	今回の献血	全血 献血		成分 献血	
		200mL 献血	400mL 献血	血漿成分献血	血小板成分献血*3
200mL 献血	男女とも4週間後の 同じ曜日からの 献血できます	男女とも4週間後の 同じ曜日からの 献血できます	男性は12週間後・女性は 16週間後の同じ曜日から 献血できます	男女とも2週間後の同じ曜日から 献血できます	
400mL 献血			男女とも8週間後の同じ 曜日から献血できます		
血漿成分献血					
血小板成分献血					

採血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

※2 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

※3 血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。

ただし、4週間に4回実施した場合には次回まで4週間以上あけてください。

血液と血液製剤について



献血の種類と血液製剤の種類

献血には、血液すべての成分をいただく「全血献血」と血液中の必要な成分（血小板や血漿）だけをいただく「成分献血」の2種類があります。全血献血は、200mLまたは400mLの血液を採血バッグに採取します。成分献血は、成分採血装置を用いてまず全血を採血し、その中から血漿や血小板を採取して赤血球は献血者の方へ返す方法です。こうして献血された血液は、赤血球・血小板・血漿などの輸血用血液製剤として使用されるほか、血漿中のタンパク質を抽出・精製した血漿分画製剤の原料として使用されます。

●輸血用血液製剤



●血漿分画製剤

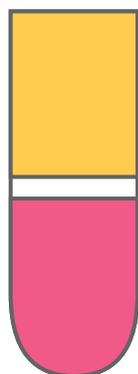
「血漿分画製剤」は、人の血液の血漿から、治療に必要な血漿タンパク質を種類ごとに分離精製したもので、主なものにアルブミン製剤、免疫グロブリン製剤、血液凝固因子製剤があります。国内製薬企業3社を通じ医療機関に供給されています。



血液の役割

成人で体重の約1/13を占める血液は、人体の機能を維持するために欠かせないものです。

血液と抗凝固剤を試験管に入れしばらく放置すると、大きく分けて二つの層に分離しますが、上層に浮かんでくる液体は血漿です。下層に沈殿してくるのが血球です。



血漿(55%)

水分(91%)・固形成分(9%)

血球(45%)

赤血球、白血球、血小板

※白い部分はバフィーコート(白血球と血小板の層)といい、血液製剤では大部分が取り除かれています。



赤血球

● 性状

血液1mm³に成人男子で約500万個、成人女子で約450万個、幼児で約690万個。直径約10/1000mmの円盤型ですが、両面にくぼみがあるため、ドーナツのような形をしています。骨髄でつくられて、古くなると脾臓で壊されますが、その間の寿命は約120日間です。

● 働き

肺で酸素を取り込み、体の各部に運搬します。



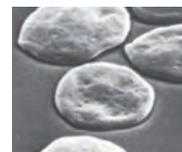
血小板

● 性状

血液1mm³に約20~40万個。直径約2/1000mmの円盤型の細胞です。体内での寿命は10日間程度です。

● 働き

ケガなどで血管が傷ついて出血したとき、傷ついた部分を見つけて張りつき、周りの他の血小板や凝固因子を引き寄せて、血栓を作り出血を止めます。



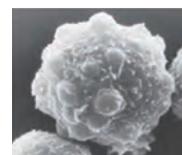
白血球

● 性状

血液1mm³に成人で平均7,500個。顆粒球、単球とリンパ球からなります。顆粒球は好中球、好酸球、好塩基球の3種類、リンパ球はT細胞、B細胞、NK細胞の3種類に分けられます。単球は血管から組織に入り病原体を食べるマクロファージ(大食細胞)に変わります。

● 働き

病原体やガン細胞を直接、あるいは抗体を作って間接的に攻撃し、病気から体を守る働きをしています。輸血において白血球が関与する副作用としては、発熱反応・TRALI・CMVなどの感染症などがあります。



血漿

● 性状

91%は水分で、残りの約9%はアルブミン、グロブリン、血液凝固因子などのたんぱく質です。この他に無機塩類、糖質、脂質を含みます。

● 働き

血漿は全身をめぐる、栄養素やイオン、水、ホルモンなどを運び、不要物や余分な水を持ち帰ります。また、体温調節作用、体の保護(アルブミンによる組織の適正な水分維持など)、止血作用(血小板と共に凝固因子が働く) などのたらしめをします。



血液型

血液型というと赤血球の型が代表的ですが、白血球や血小板にも血液型があります。輸血する際には、A B O血液型、R h血液型を合わせることが一般的ですが、その他の血液型を合わせることが、必要となる場合もあります。

A B O血液型

最も良く知られた赤血球の血液型で、A型の人はA型物質を持ち、B型の人はB型物質を持っています。A B型の人は両方の型物質を持ち、どちらも持っていないとO型になります。A B O血液型は赤血球以外にも多くの組織、細胞に存在します。

R h血液型

R h血液型は赤血球だけに存在し、D、C、c、E、eの5種類の抗原があります。一番多い人で5種類全部、一番少ない人でもCかcのどちらか1つと、Eかeのどちらか1つのあわせて2種類の抗原を持っています。このうちD抗原を持たない人をR hマイナス型といいます。まれにD抗原しか持たない人(D₋、パーディーパー型)や抗原をまったく持たない人(R h null型)がいます。

まれな血液型

まれな血液型とは、100人に1人以下でしか見られない血液型のことをいい、型によっては千人に1人、あるいは何万人に1人という型もあります。輸血を必要としている人がまれな血液型で、しかもその抗体をもっているときは、同型のまれな血液型が必要となりますので、あらかじめ血液センターで冷凍保存している同型の血液を使用したり、同型の血液をもつ方に献血をお願いするなどして対応しています。しかし一度に必要な量を集めることは非常に困難なため、まれな血液型の献血者には輸血に備えるために登録者になっていただくようお願いしています。

H L A血液型

H L Aはヒト白血球抗原(Human Leukocyte Antigen)の略で、A、B、C、DR、DQ、DPに大きく分けられ、それぞれの中に多くの型があります。H L Aは白血球だけでなく、赤血球を除く、多くの組織、細胞に存在し、健康な細胞と病気の細胞、あるいは自分の細胞と他人の細胞を区別する重要な働きがあります。このため、骨髄移植においては他人の細胞であると区別されないように、H L A型、とくにA、B、C、DR型を厳密に合わせる必要があります。また、血小板を輸血した場合、H L A抗体によって輸血した血小板が壊れてしまうことがあり、このような場合にはH L A型を合わせて輸血することが必要です。

H L A適合血小板について

●血小板製剤

血小板製剤は血小板成分献血から製造されています。この製剤は輸血を受ける患者さんにとって副作用が少なく効果が高い製品となっています。

●H L A適合血小板の輸血効果

血小板輸血を頻回に行うとH L A抗原や血小板抗原に対して抗体ができてきます。その抗体によって血小板が破壊されるため、次に血小板を輸血しても増えない状態となります。このような時にH L A適合血小板は使用されます。

石川県合同輸血療法委員会

石川県では平成23年度に合同輸血療法委員会が発足し輸血医療の適正化を目指して医療機関、血液センター及び石川県の3者が「チーム石川」として実効性の高い活動を行ってきました。血液センターは事務局として委員会の運営に協力しています。各種委員会では、石川県内の輸血を実施している医療機関へのアンケート調査解析をはじめ、遠隔地での講演会の開催や、医療機関を訪問し輸血関連の相談・情報共有を実施しています。



能登講演会風景

赤十字血液シンポジウムサテライト会場運営

輸血医療にかかわる医療関係者を対象に毎年愛知県で行われているシンポジウムについて、平成28年度から東海北陸ブロック管内の血液センターでインターネットを利用したサテライト中継を始めました。石川県赤十字血液センターでも、愛知県まで足を運べない県内の医療関係者の皆様のためにサテライト会場を設置しています。

平成30年度は全会場で520名（医療機関330名）、石川サテライト会場だけで52名（医療機関34名）の参加者が講演を聴講しました。サテライト会場への参加者は年々増えており、今後は規模の拡大も行う予定です。

皆様の参加をお待ちしております。



愛知会場の様子



石川会場の様子

平成30年度
赤十字血液シンポジウム (東海北陸ブロック)

日時 平成30年 **7月7日** (土)
13:00 ~ 17:30 [12:00開場]

場所 愛知県産業労働センター **ウイंकあいち 大ホール**
(名古屋市中区栄5-1-1 9F)

同時刻に7か所のサテライト会場へ中継

富山会場 (富山赤十字血液センター) [富山県富山赤十字血液センター]	静岡会場 (静岡赤十字血液センター) [静岡県静岡市東区東4-7-1027-2]
石川会場 (石川赤十字血液センター) [石川県金沢赤十字血液センター]	沼津会場 (沼津赤十字血液センター-沼津事業所) [静岡県沼津市東区沼津1-5-47]
福井会場 (福井赤十字血液センター) [福井県福井市南1-1-1 23号]	浜松会場 (浜松赤十字血液センター-浜松事業所) [静岡県浜松市東区浜松1-1-1]
三重会場 (三重赤十字血液センター) [三重県津市南2-1-1 11号]	三浦会場 (三浦赤十字血液センター) [三浦赤十字血液センター]

内容 1. 在宅輸血の課題と改善への取り組み
田中 朝志 先生 (東京医科大学八王子医療センター 輸血科 准教授)

2. わが国における災害時医療体制の進歩と課題
—血液製剤の重要性への認識は?—
中山 仰一 先生 (兵庫県立医療センター) 氏

3. 看護師の立場から見た
ベッドサイドの輸血医療安全対策について
松本 真弓 先生 (静岡県立総合医療センター 輸血センター 学芸員 輸血科 輸血科長)

4. 緊急大量出血時の輸血対応
山本 寛士 先生 (岡山県立大学救急センター 輸血科 輸血科長 教授)

**参加費無料
事前登録不要**

※ 本シンポジウムは以下の組織の協賛により開催されます。
日本赤十字社 愛知教育財団
日本赤十字血液センター 愛知血液センター
心臓血管センター 愛知血液センター
日本赤十字血液センター 血液センター
日本赤十字血液センター 血液センター
日本赤十字血液センター 血液センター

主催：日本赤十字社血液センター 協賛：愛知血液センター 血液センター
後援：日本赤十字社 愛知教育財団 日本赤十字血液センター 愛知血液センター
TEL：0561-89-7812 FAX：0561-89-2281
MAIL：gsh@redcross.or.jp

石川会場は石川赤十字血液センターにて実施いたします。

シンポジウム案内

平成30年度 献血者数・血液製剤の供給状況



平成30年度 献血者数：42,540人



石川県

(単位:人)

種類別	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
200mL 献血		4,698	3,671	2,178	1,878	1,839	1,784
400mL 献血		28,474	27,489	27,001	25,712	25,386	25,610
成分 献血		15,723	15,254	15,187	15,037	14,725	15,146
合計		48,895	46,414	44,366	42,627	41,950	42,540

● 男女別献血率

性別	年度	平成30年度	
	人数	比率 (%)	
男		31,467	74.0
女		11,073	26.0
計		42,540	100.0

● 種類別献血率

種類別	年度	平成30年度	
	人数	比率 (%)	
200mL 献血		1,784	4.2
400mL 献血		25,610	60.2
成分 献血		15,146	35.6
計		42,540	100.0

● 年代別献血率

年代	年度	平成30年度	
	人数	比率 (%)	
20歳未満		2,520	5.9
20~29歳		6,103	14.3
30~39歳		7,218	17.0
40~49歳		12,530	29.5
50~59歳		10,250	24.1
60歳以上		3,919	9.2
合計		42,540	100.0

● 施設別献血率

施設	年度	平成30年度	
	人数	比率 (%)	
献血ルームくろつき		10,910	25.6
献血ルームルキューブ		12,586	29.6
移動献血車		19,044	44.8
合計		42,540	100.0

● 職業別献血率

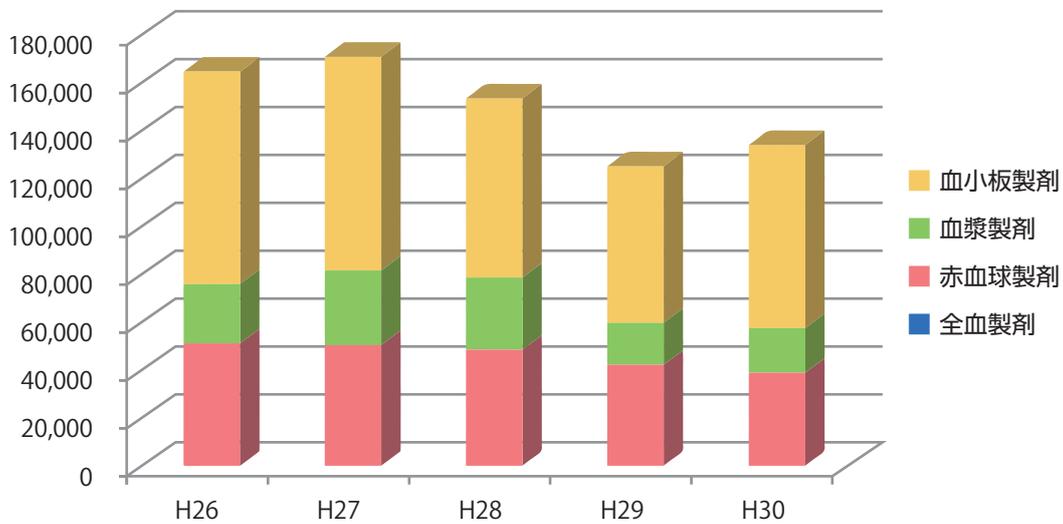
職業別	年度	平成30年度	
	人数	比率 (%)	
公務員		5,995	14.6
会社員		25,131	59.1
学生		4,190	9.8
その他		7,224	17.0
合計		42,540	100.0

● 献血できなかった割合

不適格内容	年度	平成30年度	
	人数	比率 (%)	
血色素不足		2,016	39.8
血圧異常		236	4.7
服薬		620	12.3
問診該当①		241	4.8
問診該当②		679	13.4
事前検査		38	0.8
その他		1,229	24.3
合計		5,059	100.0

血液製剤の供給状況

輸血用血液製剤(年度別)

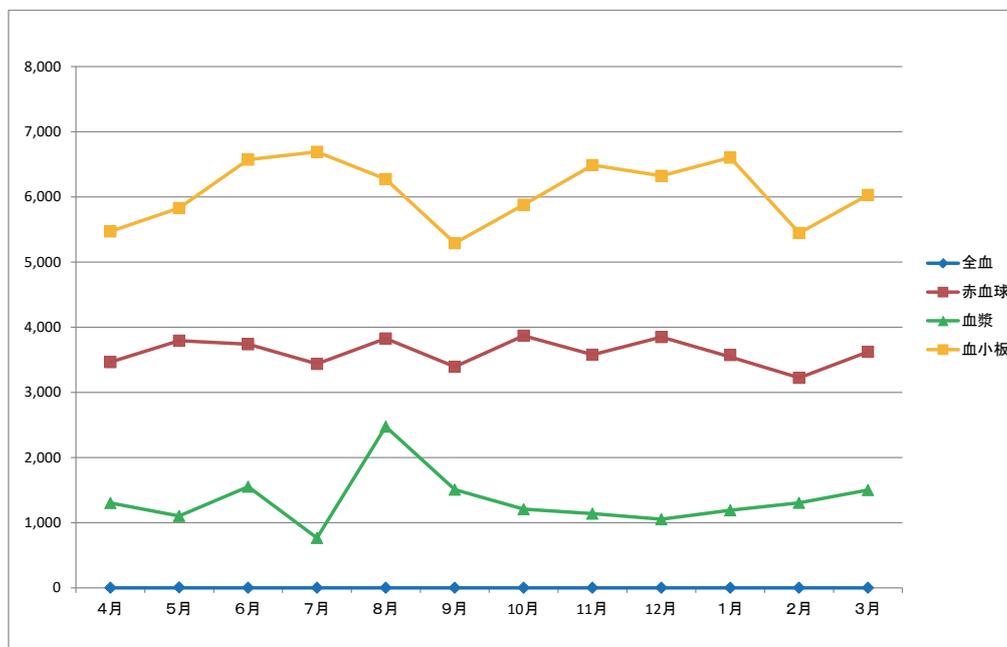


(単位)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
全血製剤	0	6	2	0	0
赤血球製剤	51,265	50,558	48,607	44,557	43,619
血漿製剤	24,821.0	31,174.5	30,168.0	16,063.0	16,257.0
血小板製剤	88,920	89,536	75,060	65,740	72,935
計	165,006.0	171,274.5	153,837.0	126,360.0	132,811.0

※1単位とは200mL献血の血液から造られる、輸血用血液製剤の量のことをいいます。

輸血用血液製剤(H30年度月別)

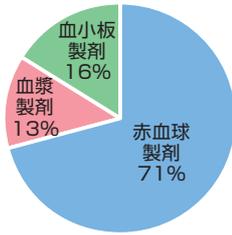


(月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤血球	3,478	3,800	3,768	3,483	3,857	3,312	3,818	3,645	3,810	3,692	3,277	3,679	43,619
血漿	1,232.0	1,123.0	1,587.0	882.0	2,462.0	1,452.0	1,154.0	1,116.0	1,056.0	1,293.0	1,326.0	1,574.0	16,257.0
血小板	5,420	5,850	6,610	6,705	6,290	5,260	5,975	6,430	6,265	6,675	5,430	6,025	72,935
計	10,130.0	10,773.0	11,965.0	11,070.0	12,609.0	10,024.0	10,947.0	11,191.0	11,131.0	11,660.0	10,033.0	11,278.0	132,811.0

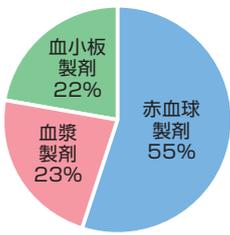
地域別供給状況

【血液製剤別構成比】



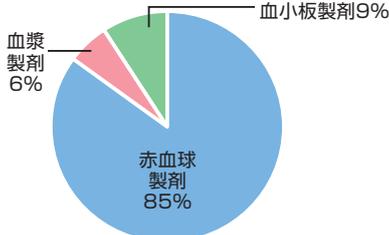
能登

【血液製剤別構成比】

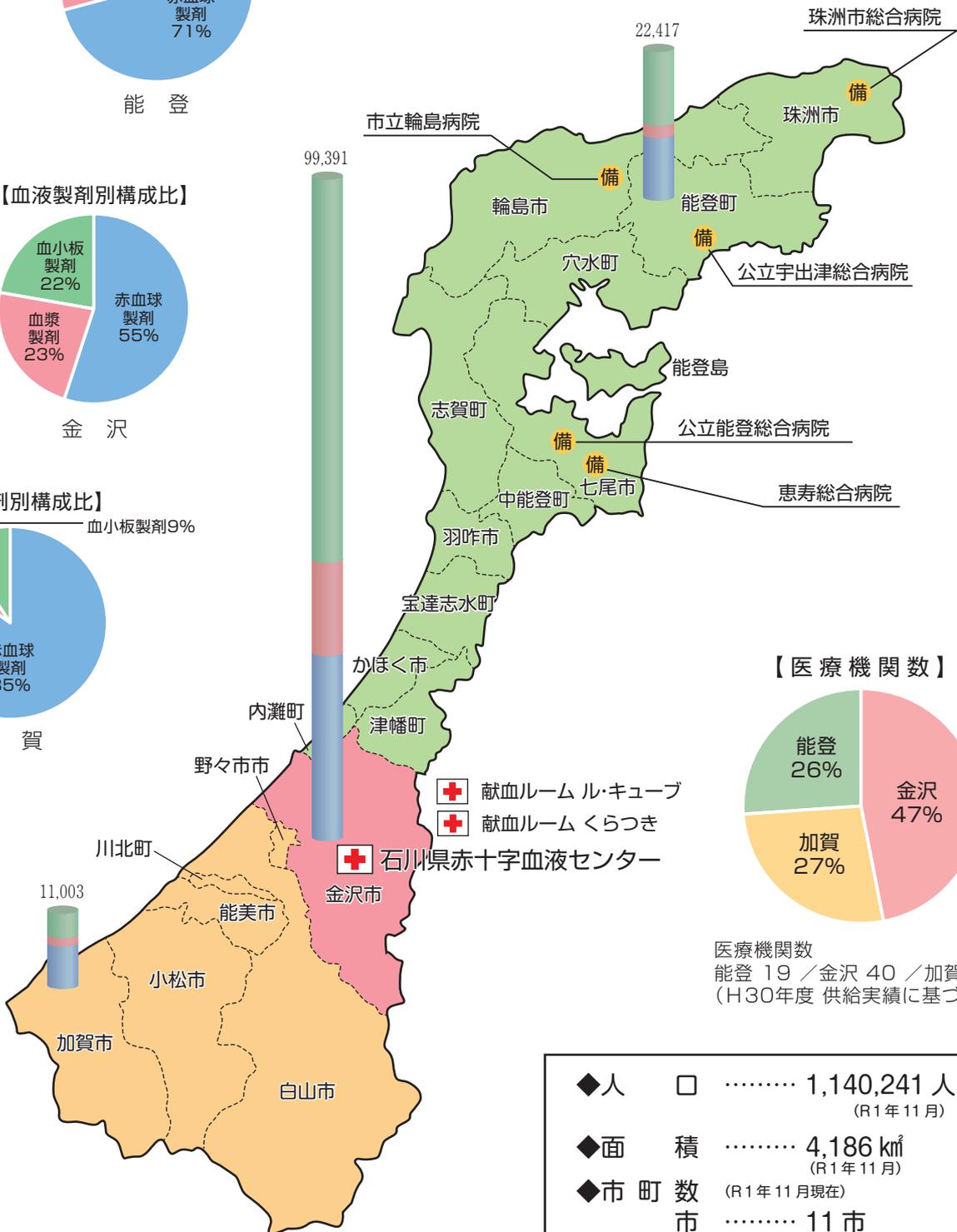


金沢

【血液製剤別構成比】



加賀

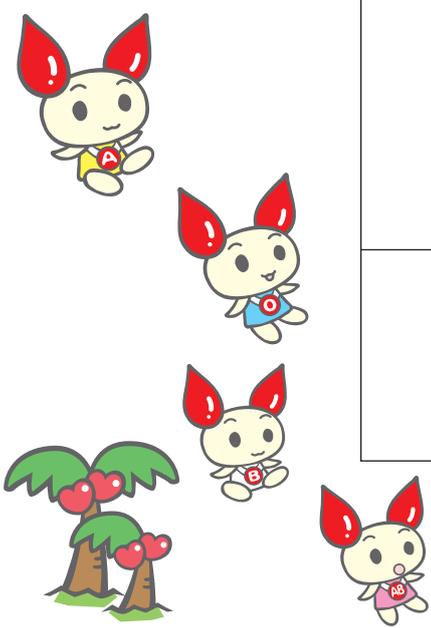
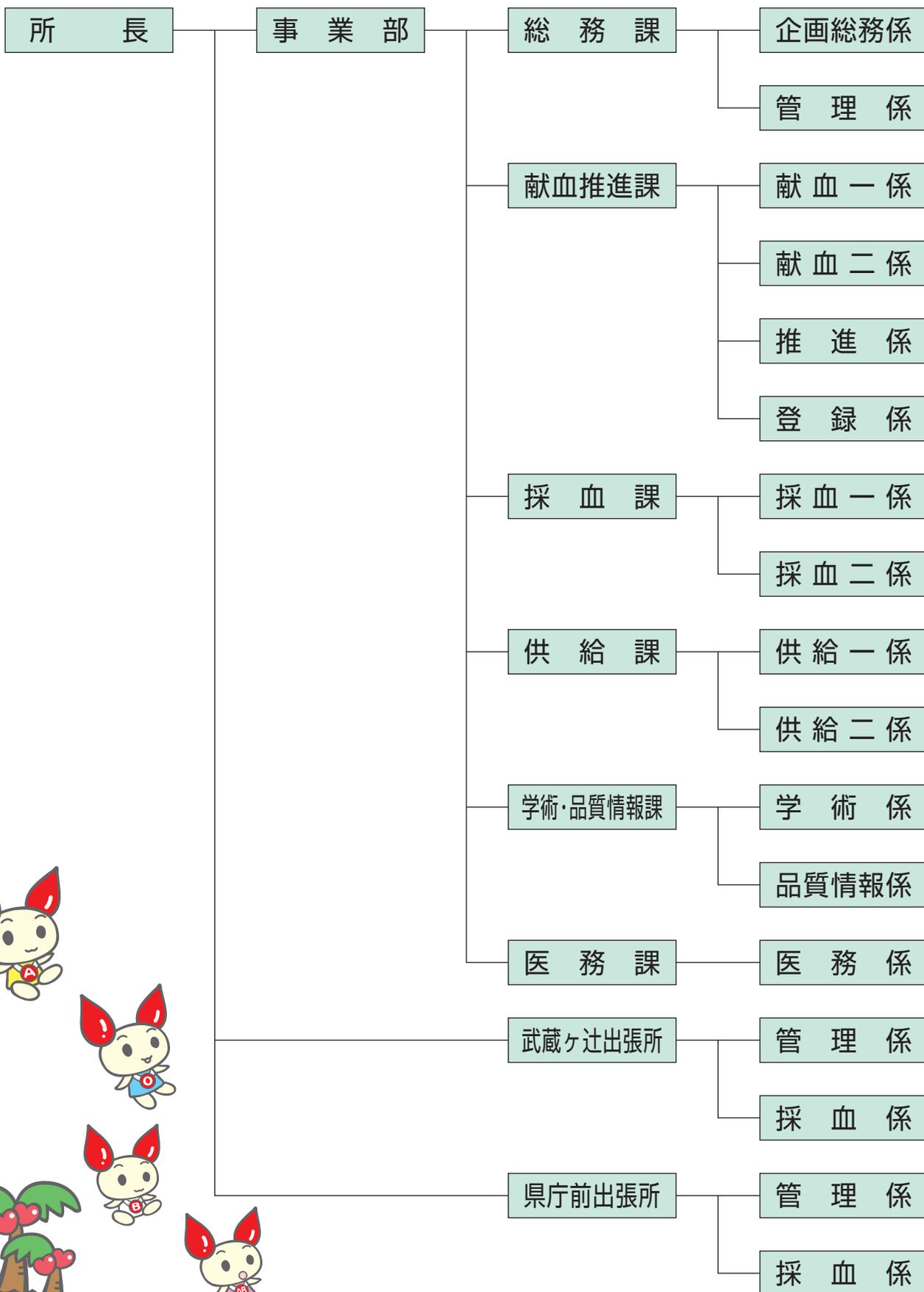


◆人	□	1,140,241 人
		(R1年11月)
◆面積		4,186 km ²
		(R1年11月)
◆市町数		(R1年11月現在)
	市	11 市
	町	8 町
◆備	血液製剤備蓄医療機関	5 病院
		(平成30年12月末日に廃止)

石川県赤十字血液センターの組織



平成31年3月31日現在



石川県赤十字血液センターの沿革



- 昭和40年 1月 移動献血車「さちしお1号」を購入し、血液事業を開始
(助北陸血清製造所に献血血液の保存・検査・供給を委託
第1回集団献血(美川町青年団36名)
- 40年 3月 第1回石川県献血推進協議会を開催
- 41年 7月 輪島市において献血者1万人目達成
- 9月 第1回石川県献血推進大会を開催(石川県婦人会館)
Rhマイナス血液型友の会「さちしお会」結成
- 42年 9月 赤十字血液センターに採血所を設置
都道府県の赤十字血液センター間で保存血液の需給調整を開始
- 43年 3月 小松出張所(採血所)を市立小松総合病院に設置
- 6月 ABO式血液型無料判定を実施
- 8月 穴水出張所(採血所)を公立穴水中央病院に設置
- 9月 赤十字血液センターが(助北陸血清製造所から保存血液の検査業務を引継
- 45年 1月 七尾出張所(採血所)を公立能登総合病院に設置
- 9月 美川町において献血者10万人目達成
- 46年 4月 赤十字血液センターが(助北陸血清製造所から保存血液の供給を全面的に引継(直配一貫制に移行)
- 7月 第7回献血運動推進全国大会が石川県で開催(金沢市観光会館)
- 51年 5月 血液成分製剤の製造を開始
- 55年 3月 金沢市において献血者50万人目達成
- 9月 赤十字血液センターを金沢市南新保町地内
(現県庁前出張所所在地)に新築移転
- 57年 4月 血液生化学検査(6項目)の成績の全員通知を開始
献血手帳の供給記録欄の廃止
- 58年10月 穴水出張所(採血所)廃止
- 11月 献血者登録制度発足
- 61年 3月 赤十字血液センター増改築完成
- 4月 400mL献血、成分献血を開始
- 6月 コンピューターシステムの導入
- 11月 片町出張所「献血ルームラブロ」を設置
(開設時全血献血4ベッド
⇒全血献血2ベッド、成分献血6ベッド)
HIV-1抗体検査、HTLV-1抗体検査を開始
- 12月 金沢市において献血者100万人目達成
バーコードラベルによるエイズチェック開始



赤十字血液センター 新築移転



献血ルームラブロ

- 平成元年 4月 小松出張所(採血所)廃止
- 7月 出張での成分献血開始(事業所に成分採血装置を持ち込み)
- 11月 HCV抗体検査、HBc抗体検査を開始
- 2年 1月 七尾出張所(採血所)廃止
- 2年10月 片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化
(全血献血2ベッド⇒3ベッド、成分献血6ベッド⇒9ベッド)
- 3年 1月 赤十字血液センター採血所の機能強化(土曜日献血の実施)
- 9月 小松市において献血者150万人目達成
- 11月 成分献血に対応した大型移動献血車を購入
- 4年 3月 献血による血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給開始
- 6年 1月 第一次全国赤十字血液センター統一コンピューターシステムを導入
- 9月 第18回日本血液事業学会を金沢市において開催
- 7年 4月 赤血球MAPの有効期限短縮(42日間から21日間へ短縮)
- 8年 3月 赤十字血液センターの増改築工事完成(新館建設)
- 9年11月 献血ルームラプロにおいて献血者200万人目達成
- 10年 5月 第1回石川県輸血懇話会の開催
- 6月 放射線照射輸血用血液が国に認可され供給を開始
- 11月 片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化
(成分献血9ベッド⇒10ベッド、問診用個室を新設)
- 11年10月 全国的にNAT(核酸増幅検査)を導入【500検体プール】
(検査施設 北海道千歳市、東京都江東区、京都府福知山市)
- 12年 2月 NAT(核酸増幅検査)【プールサイズ500検体→50検体】
- 13年 5月 赤十字血液センター・イントラネット導入
- 14年 3月 赤十字血液センター・ホームページ開設
- 15年 1月 赤十字血液センター採血所の業務拡大(日・祝日を除く毎日開設)
- 3月 片町出張所「献血ルームラプロ」の機能強化(心電図室新設)
- 7月 安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律が施行
- 16年 5月 第二次全国赤十字血液センター統一コンピューターシステムを導入
- 8月 NAT(核酸増幅検査)【プールサイズ50検体→20検体】
- 10月 日赤本社に血液事業本部を設置
検査目的の献血防止対策として献血受付時の本人確認の実施
- 17年 2月 宝くじ協会より移動献血車さちしお5号(大型)寄贈
金沢市において献血者250万人目達成
- 6月 英国滞在歴に関する献血制限の実施
- 12月 片町出張所「献血ルームラプロ」平日献血強化のため定休日変更(水曜日⇒土曜日)

- 平成18年 3月 タッチパネルシステムを固定施設に導入
複数回献血クラブを設置
- 4月 富山県赤十字血液センターの血液検査業務を集約
- 10月 福井県赤十字血液センターの血液検査業務を集約
献血手帳から献血カードへ切替
献血者健康被害救済制度を開始
- 19年 1月 全血由来製剤の保存前白血球除去、初流血除去開始
- 11月 血小板血液製剤の有効期限が72時間から4日間に延長
- 20年 5月 化学発光酵素免疫法（CLEIA法）検査機器の導入完了
赤十字血液センター・ホームページ更新
- 21年 3月 製剤施設移転拡張（本館2階⇒新館3階）の工事完成
糖尿病関連検査（グリコアルブミン検査）のサービス通知開始
- 21年 4月 富山県赤十字血液センター・福井県赤十字血液センターの血液製剤製造業務を集約
- 7月 供給課冷凍室拡張、事務室・会議室等の内部改修工事完成
- 22年 1月 宝くじ協会より移動献血車さちしお2号（中型）寄贈
1980年から1996年の英国滞在歴の献血制限が1日以上から通算1か月以上に緩和
- 3月 血液事業広報用映像装置「デジタルサイネージ」導入
（赤十字血液センター採血所・片町出張所）
- 23年 4月 石川県合同輸血療法委員会設立（県・血液センター・医療機関）
400mL全血献血が18歳から17歳（男性のみ）に引下げ
血小板成分献血が54歳から69歳（男性のみ）に引上げ
- 9月 赤十字血液センターの移転用地を取得（金沢市藤江北4丁目地内 9,155㎡）
- 24年 4月 血液事業が全国7つのブロック血液センターによる広域事業運営体制（広域的な経営体制及び需給管理体制）に移行
（北陸3県及び東海4県は東海北陸ブロックに所属）
石川県赤十字血液センターが「石川県赤十字血液センター」と「東海北陸ブロック血液センター石川製造所」に分離
- ・ 赤十字血液センターの業務
 - 献血推進、採血、供給、医薬情報活動及び献血ルーム運営
 - ・ 東海北陸ブロック血液センター石川製造所の業務
 - 北陸三県の検査、血液製剤製造、献血者登録及び需給管理
- 5月 多目的検診車1台を導入
- 8月 B型肝炎ウイルス関連検査判定基準の変更（HBV感染既往血液への更なる安全対策）
- 10月 シャーガス病の安全対策の実施
片町出張所「献血ルームラプロ」献血者50万人目達成

平成25年 1月	「献血の同意説明書」の導入	
10月	日本赤十字社・造血幹細胞提供支援機関に 国から指定を受ける	
26年 2月	赤十字血液センター・ホームページ更新 (スマートフォン・タブレットに対応) 赤十字血液センター・イントラネット変更 (本部整備ネットワークに加入)	ル・キューブオープン
3月	献血ルーム移転(片町出張所「献血ルーム ラブロ」から武蔵ヶ辻出張所 「献血ルーム ル・キューブ」へ移転し業務開始) 石川製造所の検査部門と献血者登録部門の一部業務を東海北陸ブロック血液センターに集約	
4月	武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」開所式挙行	
6月	血液事業情報システムを導入(電子カルテ化)	
8月	個別NAT(核酸増幅検査)を導入【20検体→1検体】 (検査施設8ヶ所:北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中四国、九州の各ブロック 血液センターおよび関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所)	
9月	石川県における献血者300万人達成	
27年 1月	武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者1万人達成	
11月	石川県赤十字血液センター地鎮祭(移転建設工事開始) 武蔵ヶ辻出張所「献血ルーム ル・キューブ」献血者2万人達成 血小板成分献血のPC分割開始	
28年 4月	ALT製品除外基準の変更 【61 IU/L以上 → 101 IU/L 以上】	
10月	赤十字血液センターを金沢市藤江北に新築移転 県庁前出張所「献血ルーム くらつき」を設置 (全血献血2ベッド、成分献血8ベッド)	
29年 3月	成分採血の血漿採取量の上限が600mL以下に変更	藤江移転
10月	県庁前出張所「献血ルーム くらつき」献血者1万人達成	
30年10月	複数回献血クラブの会員サイトを一新し、愛称を「ラブラッド」に統一して運用を開始	



患者さんからのメッセージ

貧血の数値になった時、血を
くれてありがとうございました。お
かげで今は退院にむけて、ちりょう
しています。ほんとうに血をくれて
ありがとうございます。



患者さんからのメッセージ

急性リンパ腫になり、もう3年が経ちます。
今ほど涙の果の音が輸血してくれてるおかげで命が
救われています。名前、顔と分らない誰かの優しい心が
人の命のつながりを保っているから輸血で死に退避させる事に
でき感謝しています。ありがとうございます。



患者さんからのメッセージ

夫の突然の発病で大量の輸血をして
頂き命を今に繋いでいただいています。
今も治療中で夫の輸血の点滴を目にするたびに
感謝の合掌が自然に出ています。
献血をして頂いた皆様、本当にありがとうございます。



患者さんからのメッセージ

けんけつをしてくれた方、
ほんとうにありがとうございます。
ますゆけつをしてもらい、とても
うれしかったです。これから、
ひょう気にまけないでがん
はります。



わたしたちの誓い

1. 献血される方と患者さんの「安全・安心」の架け橋になれるよう、私たちは常に努力します。
2. 「献血される方のやさしさ」に笑顔と真心と信頼でお応えするよう、私たちは心がけています。
3. 献血される方の「無償の愛」を、患者さんに大切にお届けするために、私たちは努力します。
4. 血液事業を通じて、地域医療に貢献し、日々成長し続けるよう、私たちは努めます。
5. 信頼され、希望に満ちた明るい職場づくりに、私たちは努力します。

平成 19 年 7 月 20 日

石川県赤十字血液センター
職員一同

成分献血のご協力・お問い合わせは

献血ルーム ル・キューブ

〒920-0909 金沢市袋町1番1号 かなざわはこまち3階
 TEL(076)220-1655 FAX(076)220-1654
 定休日 月曜日(祝日の場合は開設)
 受付時間 400mL・200mL献血 10:00~12:30/13:50~18:00
 成分献血 10:00~12:00/13:50~17:15



献血ルーム くらつき

〒920-8201 金沢市鞍月東1丁目1番地(石川県庁前)
 TEL(076)237-3745 FAX(076)237-5565
 定休日 日曜日・祝日
 受付時間 月曜日から金曜日
 400mL・200mL献血 9:00~11:40/13:00~16:45
 成分献血 9:00~11:00/13:00~16:00
 土曜日
 400mL・200mL献血 8:30~11:40/13:00~16:15
 成分献血 8:30~11:00/13:00~15:30

